

平成27年度行政評価外部評価に係る

担当課書面照会結果

事業番号	事業名	担当課
6148	白樺・若草乳児統合園建設整備事業	子ども育成課
880	児童生徒体力向上事業	学校教育課
757	あそびのひろば事業	子育て支援センター事業担当
310	江別の顔づくり事業	顔づくり推進室都心区画整理課
1059	公共交通利用促進対策事業	政策推進課参事
879	大麻地区住環境活性化事業	政策推進課参事

平成27年度行政評価外部評価に係る照会事項

戦略	3-A-1
事業番号	6148
事業名	白樺・若草乳児統合園建設整備事業
担当課	子ども育成課
調査方法	書面照会

1. 照会事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
白樺保育園及び若草乳児保育園の概要の記載が必要ではないか	いずれの保育園も開設後40年以上が経過しており、広く市民に周知されているものと判断し記載していませんが、手段に記載した老朽化した施設として開設後40年以上経過している旨の表現を記載するなど検討します。
統合園がどのような施設か概要の記載が必要ではないか	平成26年度においては、施設整備にかかる基本・実施設計が主たる事業であります。統合園がどのような施設であるかの説明は必要と思われるので、施設の規模などの概要を記載するよう検討します。
「保育事業の効率的な運営」とは具体的にどういったことか	現在、白樺保育園が2～5歳、若草乳児保育園が、0～1歳を受け入れを行っており、統合し就学前児童の一環保育を実施することにより、効率的な管理運営が図られるとともに利便性も向上するものであります。
「江別市立保育園の整備と運営に関する計画」の中での統合園の位置付けの記載が必要ではないか	「江別市立保育園の整備と運営に関する計画」における位置づけとしては、施設整備の実施計画として位置づけられておりますので、そのような点を記載するよう検討します。
事務事業の目的と成果の「意図」の部分に、2園を統合することでの具体的なメリットの記載が必要ではないか	事業実施にかかる「意図」としては、記載のとおりであります。具体的メリットとしては、2つの施設で実施していた施設を1つとすることにより「保育事業の効率的な運営」が図られ、就学前児童の一環保育の実施による利便性の向上と老朽化施設の整備による、より安全・安心な保育施設を利用してもらうなどの表現を加えるなど、検討します。
担当課の評価(5)で、「入札により建築業者等を決定するため、コスト削減の余地はない」とあるが、市民に分かりにくいのではないか	施設整備事業にあたっては、求められる仕様を確定させた後、建築基準等を満たす設計・積算を行い、契約に関する所定の手続きを経て契約金額が決定されるため、コスト削減の余地はない。

2. 照会事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
事務事業の目的と成果の「意図」の部分に、「待機児童の解消」「多様な保育ニーズに応える」とあるが、成果指標の項目と一致していないのではないか	入所児童数が増加する保育の提供量を確保することにより、待機児童の解消を含めた保育ニーズに応えることにつながるものと判断しており、成果指標に定員数を加えるなど検討します。
活動指標が「建設整備費」としているが、より分かりやすい指標はないか	事業内容自体が民間事業者による外部受注となることから、適当な活動指標が見いだせなかったため建設整備費としたものであります。

平成27年度行政評価外部評価に係る照会事項

戦略	3-A-2
事業番号	880
事業名	児童生徒体力向上事業
担当課	学校教育課
調査方法	書面照会

1. 照会事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
「朝運動プログラム」の内容が分からないので、説明が必要でないか	次年度の評価表に、朝運動プログラムについての説明を記載します。
モデル校は何校で、どのように選んでいるのか記載が必要ではないか	次年度の評価表に、モデル校についての説明を記載します。
配布したDVDがどう使われ、子どもたちの体力向上にどう役立っているか記載が必要ではないか	次年度以降、事業実施の効果等の記載に努めます。
事業開始の背景で、北翔大学との連携等について、江別市の状況の記載が必要ではないか	児童の体力向上に取組むため、平成21年度から継続して北翔大学と連携している状況について、次年度の評価表に追記します。
担当課の評価(6)で、「取組が各学校へ広がることで」とあるが、具体的にどのように広げるのか記載が必要ではないか	モデル校以外での普及出前講座や教職員向けの研修等について、次年度の評価表に記載します。
北翔大学の協力とあるが、北翔大学である理由の記載が必要ではないか	北翔大学には、生涯スポーツ学部や生涯スポーツ研究センターがあり、体力向上に繋がる様々な「運動遊び」を実践研究している現状を踏まえ、北翔大学と協力して事業を進めている旨、次年度の評価表に追記します。

2. 照会事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
対象指標はモデル校の児童生徒数も必要ではないか	次年度の評価表において、対象指標の変更を検討します。
活動指標はモデル校のみか、また何校分かを分かるような記載が必要ではないか	当該活動指標がモデル校のみの数値である旨、次年度の評価表に記載します。
活動指標は「朝運動プログラム」を受けた人数や時間数が適切ではないか	次年度の評価表において、時間数等の指標の追加を検討します。
成果指標は、モデル校のみか市内公立小中学校の全児童生徒の割合が分かるような記載が必要ではないか	「モデル校のみ」である旨、次年度の評価表に記載します。

平成27年度行政評価外部評価に係る照会事項

戦略	3-A-3
事業番号	757
事業名	あそびのひろば事業
担当課	子育て支援センター事業担当
調査方法	書面照会

1. 照会事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
「子育てひろば」「子育てサロン」「出張ひろば(親子にこにこひろば)」など少しずつ違う用語が出てきて分かりにくいので整理してもらいたい	この事業は、異なる事業名で実施していた類似の事業を「あそびのひろば事業」として統合し見直したことから、運営主体に応じて異なる表現としているもので、逆に理解しにくい部分もありますので、わかりやすい内容となるよう検討します。
「子育て支援施設」「子育てサポーター」の説明が必要ではないか	「子育て支援施設」とは、民間を含めた「子育て支援センター」であり、「子育てサポーター」とは、平成15年度から17年度にかけ市が独自に養成したボランティアの人材となりますが、簡単な概要について付記するよう検討します。
「交通手段等により、日頃地域子育て支援施設を利用できない」と記載しているが、実施した地区などを記載してもらいたい	「あそびのひろば」としては、市内17か所で実施しており、手段の中に実施地域を追記するよう検討します。
対象が「就学前児童と保護者」となっているが、手段で「交通手段等により、日頃地域子育て支援施設を利用できない家庭などのため」と記載しており整理が必要ではないか	「あそびのひろば」については、対象はあくまで就学前の児童と保護者であり、実施する地域について交通手段等により、日頃地域子育て支援施設を利用できない家庭などを想定し、就学前児童数の多い地域や設置している子育てセンターから比較的距離がある地域などで実施しているものであります。
事業内容に経費といった表現は不要ではないか	事業内容として、「経費」という表現は不適當であり、削除するよう検討します。
担当課の評価(5)でスタッフは全てボランティアと記載があるが、費用内訳で非常勤報酬があるのはなぜか	運営スタッフとしては、ボランティアの人材により実施しているが、市の子育て支援センター「すくすく」の職員が事業支援として対応していることから、その際の「すくすく」の運営体制確保のための非常勤職員の人件費を計上しているものであります。

平成27年度行政評価外部評価に係る照会事項

戦略	3-B-1
事業番号	310
事業名	江別の顔づくり事業
担当課	顔づくり推進室都心区画整理課
調査方法	書面照会

1. 照会事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
土地の高度利用、仮換地協議、補償協議など専門用語が多く市民にとって分かりやすい表現にならないか	<ul style="list-style-type: none"> ・土地の高度利用は、中高層建築物の建設を、仮換地協議、補償協議は、土地や建物の移転に係る権利者協議を意味しています。 ・土地区画整理事業は、事業の特殊性から専門用語が多いため、今後は、市民にとって分かりやすい表現に努めます。
「市民のくつろぎ空間」とは何か、具体的な説明が必要ではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・「市民のくつろぎ空間」とは、市民交流の場となる魅力ある中心市街地を意味していますが、用語のみでは分かりにくいものと思いますので、今後は、補足説明を加える等の工夫により、市民にとって分かりやすい表現にします。
担当課の評価(3)で、「遅延が生じている」とあるが、計画よりどのくらい遅れているのか記載が必要ではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果については、今後、活動指標の計画値と実績値の対比等を記載することにより、事業の進捗状況が市民にとって分かりやすくなるようにします。
担当課の評価(5)で、事業費の総コスト削減と補助金活用による一般財源の確保とは分けて考えるべきでないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、国の補助金の活用は事業費を削減するものではないため、今後は、総事業費と一般財源の削減を切り分けた表現にします。

2. 照会事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
指標が進捗率との表記だけでは、どういった状況か市民に分かりにくいのではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・区画整理事業は、既存の全体計画に基づき建物移転や基盤整備を進める事業のため、事業の実施状況を示す進捗率としては、市民にとって分かりやすい指標の一つであると認識しています。 ・しかし、事業効果については、進捗率で読み取れるものではないと考えられるため、今後、新たな指標について検討を進めます。

平成27年度行政評価外部評価に係る照会事項

戦略	3-B-2
事業番号	1059
事業名	公共交通利用促進対策事業
担当課	政策推進課参事
調査方法	書面照会

1. 照会事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
対象が市民となっているが、もう少し属性を絞るべきではないか	利用促進の観点から、利用者以外を含めて広く取り組みを進めるため、市民を対象としております。
事務事業の目的と成果の「手段」について、具体的な事業内容の記載をしてほしい	具体的な事業内容の記載について検討します。
地域公共交通会議の位置付けや取組について詳細な説明を加えてほしい	地域公共交通会議の位置付け等の説明について検討します。
事業開始背景の「具体化すべき時期」とあるが、何を具体化すべきなのか記載すべき	具体化すべき内容の記載について検討します。

2. 照会事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
活動指標の「利便性向上や利用促進等のために行なった事業」についての記載が必要ではないか	事業の記載について検討します。

平成27年度行政評価外部評価に係る照会事項

戦略	3-B-3
事業番号	879
事業名	大麻地区住環境活性化事業
担当課	政策推進課参事
調査方法	書面照会

1. 照会事項(記載内容に関わるもの)

照会事項	回 答
事務事業の目的と成果の「対象」が大麻地区となっているが、大麻地区の住民など、より具体的な記載ができないか	大麻地区の住民など検討します。
「対象」の大麻地区と「手段」の大麻団地は違うのではないか	大麻団地の課題解決に向けたモデル事業として取り組んでおり、広域的な展開を進めることとしております。
担当課の評価(5)で、事業費の総コスト削減と補助金活用による一般財源の確保は分けて考えるべきでないか	事業の効率性の観点から検討します。

2. 照会事項(指標に関わるもの)

照会事項	回 答
大麻地区の人口は成果指標ではなく対象指標ではないか	対象指標及び成果指標の検討の中で整理します。
住まいの相談などについて成果指標とすべきではないか	成果指標について検討します。